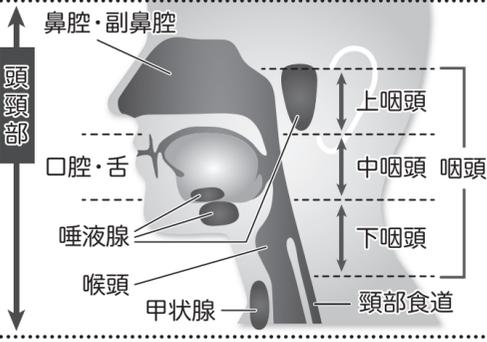


# 7月は「頭頸部外科月間」

# 耳鼻咽喉科医師座談会

## ■頭頸部の領域



日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会ホームページから作成

頭頸部(顔や首の領域)のがんは、口腔がんや咽頭がん、喉頭がん、鼻腔・副鼻腔がん、甲状腺がん、唾液腺がん—などさまざまで、呼吸や発声、

嗅覚、聴覚、味覚、咀嚼・嚥下など大切な機能が集中する部位のため、QOL(生活の質)に配慮した治療も求められる。人気芸能人が頭頸部がんを克服し、仕事復帰する姿に励まされることも多い。7月は「頭頸部外科月間」。兵庫県耳鼻咽喉科医会の医師3人に、がんの特徴や早期発見・予防法、治療法などについて語ってもらった。(文中敬称略)

## 多種多様な頭頸部がん

# 不調あればすぐ受診を

## 高雄 がんを常に念頭に診察



大月 直樹氏

「頭頸部がんの特徴は、大月 頭頸部のうち、鼻腔・副鼻腔は空気の通り道、口腔・舌は食物の通り道で、その周りに唾液腺、気道と食道が合流する咽頭で、交通整理”され、気管の入り口の喉頭と頸部食道

に分類されていく。喉仏の下に甲状腺がある。頭頸部がんはこれらの部位にできるがんの総称で、全国の罹患者数は年間1万5千人、約1万人で、交通整理”され、気管の入り口の喉頭と頸部食道 死者は年間約7千人で、がん全体の2%程度。ただ、部位が多岐にわたるため種類が多く、治療によって起こる後遺症も違う。ひとくくりにできない疾患だ。

早期発見が重要だ。まず、開業医ががんを見逃さないことが大切だ。臨床例が少ない上、初期には顕著な症状が出にくいだけに、どの違和感などの症状でも、常にがんの可能性を念頭に置いて診察している。がんの発生に喫煙や過度の飲酒が大きくなり、中高年の男性に発症しやすい傾向があるとされ、対象の方は特に注意深く診るようになっている。少しでも怪しい症状があれば、精密検査できる総合病院を紹介している。

座談会出席者

大月 直樹氏  
はりま姫路総合医療センター  
耳鼻咽喉科頭頸部外科診療科長

高雄 真人氏  
高雄耳鼻咽喉科クリニック院長

魚住 真樹氏  
うおずみ耳鼻咽喉科院長

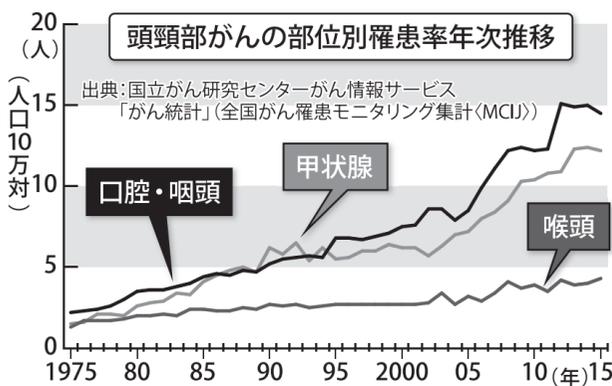


高雄 真人氏

## 魚住 予防に禁煙節酒が大切

## 大月 口腔の衛生状態も影響

魚住 がんが進行すると、がんに対する根治性と日常生活を送る上での機能の維持、整容的な配慮のバランスを見ながら治療を選択していく。早期発見できると、体への負担が小さい。低侵襲的な経口的切除法でのどの粘膜を薄く削ぐことも可能となる。胃力メラゲのどを通る際、異常が見つかり、早期発見できたケースも少なくない。検査の大切さがよく分かる。予防法は。



魚住 喉頭がんの患者の97、98%は喫煙歴ありというデータがある。禁煙とむやみな飲酒を控える節酒が大切だ。「頭頸部がんは生活習慣病に近い」という医師もいる。さらに、口腔ケアも効果がある。大月 口腔内の衛生状態が悪い、入れ歯が合わないのもリスクになる。鼻腔・副鼻腔の慢性的な炎症ががんを引き起こすともいわれる。

## 高雄 相談多い舌・喉頭・咽頭

「気がつけたい症状は、大月 飲み込むときの痛みや飲み込みにくさ、声が出れななどで、風邪やコロナウイルス感染の症状と似ているが、1カ月治らないなら受診を。魚住 初期症状は風邪にように似ているが、治らなければ、2、3週間続くようなら相談してほしい。副鼻腔炎の治療を行っている3カ月以上経過しても軽快せず慢性化したものなかに腫瘍が紛れていることがあるので、CTなどの画像検査を追加して見落としがないように注意して対応している。高雄 進行すると治療が



魚住 真樹氏

「分子標的治療」のほか、近年、免疫によるがん細胞を攻撃する力を取り戻させる「免疫チェックポイント阻害剤」や、正常細胞よりがん細胞に多く取り込まれる薬剤を使って放射線によりがん細胞を死滅させる「中性子捕捉療法(BNCT)」が開発された。がん細胞に、光に反応する薬物を取り込ませてレーザー光を照射する「光免疫療法」は最新の治療法だ。いずれも良好な治療成績が得られれば、期待が広がる。

## 大月 期待される新たな治療

「啓発メッセージを。魚住 少量の飲酒で顔が赤くなるフラッシュヤーの人はリスクが高いと認識してほしい。アルコールが分解されてできる発がん性物質「アセトアルデヒド」に関連し、顔の毛細血管が拡張し赤くなる。適切な歯科治療も大切だ。中咽頭

## 魚住 ウイルス関与のがんも

「分子標的治療」のほか、近年、免疫によるがん細胞を攻撃する力を取り戻させる「免疫チェックポイント阻害剤」や、正常細胞よりがん細胞に多く取り込まれる薬剤を使って放射線によりがん細胞を死滅させる「中性子捕捉療法(BNCT)」が開発された。がん細胞に、光に反応する薬物を取り込ませてレーザー光を照射する「光免疫療法」は最新の治療法だ。いずれも良好な治療成績が得られれば、期待が広がる。

近年、HPVはオーラルセックスにより咽頭に感染し、中咽頭がんを発症する可能性が指摘され、注意が必要だ。大月 喫煙する男性が喉頭がんになる確率は喫煙しない人の30倍というデータがある。ぜひ禁煙を。咽頭がんは増加が見込まれ、HPVワクチンの男性への接種が広がればい